

日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 畑中 久明 発行所 日本高齢期運動連絡会
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5 シャンボール中野 504 号
TEL/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com
<http://www.nihonkouren.jp>

No.367
発行 2025 年 1 月 10 日



輝く高齢期をめざし
今年もおおいにがんばりま
しょう

戦後 80 年、節目の年です。昨年は被団協がノーベル平和賞を受賞し、大きな話題となりました。女性差別撤廃条約の対日審査委が行われ、日本からも多くの関係者が参加しました。2022年の「障害者人権条約」、2023年は「ビジネスと人権」、そして今年2024年10月には国連女性差別撤廃委員会が日本政府に選択的夫婦別姓導入などとともに、独立した人権擁護機関の設立を勧告しています。昨年の日本高齢者大会の学習企画には国内人権擁護機関の問題を取り上げ、日弁連の小池振一郎弁護士に講演していただきました。

国連高齢者人権条約の制定にむけたとりくみも、作業部会の勧告が8月の国連総会でとりあげられています。

今年は、参議院選挙もあります。「人権」を社会の発展の原動力にしていく、そのことを未来社会図として描いていく、そんな運動は大きく前進する年になるよう、がんばりましょう

第37回日本高齢者大会 in あいち・第3回中央実行委員会総会 第38回日本高齢者大会・第1回中央実行委員会総会

【日時】 2025 年 1 月 18 日(土)14:00~16:30(予定)

【会場】 全日本年金者組合中央本部会議室 web システム併用

<https://zoom.us/j/93783914659?pwd=NJsAU2YWzUtzIZC27jaLbC37WShxa3.1>

ミーティング ID: 937 8391 4659

パスコード: 910242

2025年1月31日

2.1高齢者中央集会

国会議員要請行動

老人医療有料化から42年

2.1 高齢者中央集会は、老人医療無料制度が廃止された1983年から毎年開催され、老人福祉法が精神が放棄された2月1日を記憶に刻み、その時々の政策・運動課題の学習や要請行動に取り組んできた集会です。日本は今、アメリカと大資本の言いなりに、世界の戦争の危機を悪用し、高齢者と現役世代を分断して、大軍拡と社会保障破壊の道を突き進んでいます。高齢者の人権は危機に瀕しています。2.1 高齢者中央集会を、人権の旗を高く掲げ、社会保障改悪の政治に対峙していく運動を確認する場として、全国に行動・参加を呼びかけます。

1月31日(金) 衆議院第二議員会館 多目的会議室

中央集会 10:30~13:00

・WEB参加→ <https://x.gd/21gathering42>

■講演

講師 **芝田 英昭 氏**

(立正大学社会福祉学部教授)

生命の尊厳から 社会保障を考える

■報告 各団体からの報告

■報告 国会議員のあいさつ(予定)

国会議員要請行動

集会後~15:00

■要請行動報告会

衆議院第二議員会館 第三会議室



主催 中央社会保障推進協議会・全日本年金者組合
日本高齢期運動連絡会
お問い合わせ 日本高齢期運動連絡会
Tel/fax 03-3384-6654 nihonkouren@nifty.com



【東京】「ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい」2月26日 全体会を中心に

日本高連事務局次長(東京高連事務局長) 菅谷正見

東京高齢期運動連絡会は、2月26日(水)の全体会を中心として、「第33回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい」を行います。

昨年10月の衆議院選挙での与党過半数割れ、改憲勢力2/3未満という激動の中で、私たちの運動が今までにない変化を作り出す可能性が生まれています。しかし、財界と自公政権は、社会保障破壊、大軍拡、大企業・富裕層優遇の路線に固執し、年齢間の敵意、分断を作り出して、運動をおさえ込もうとしています。

分断を乗り越え、年齢を超えた共感を取り戻し、力を合わせて、社会保障を自己責任からすべての人の人権を守る公共へ、安全保障を軍事から話し合いの外交へ転換し、憲法改悪の策動をゆるさず憲法を生かした政治の実現をめざす運動の大きな前進が求められています。

2月26日(水)13:30~16:15 立川のたましん RISURU ホールで開かれる「第33回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい」全体会の記念講演は介護の問題をテーマに行います。いま、悪政によって介護は崩壊の危機に瀕しています。高齢者、家族、介護労働者、介護事業所などみんなが直面している深刻な問題であり、これから高齢期をむかえるすべての人の大きな不安です。上野千鶴子さん(東京大学名誉教授、ウィメンズアクションネットワーク理事長)の記念講演「どうする どうなる介護保険～おひとりさまの老後がアブナイ」を受け、ともに考え、運動の前進につながる全体会をめざします。地域の運動も交流して、元気の出る全体会にしようと準備を進めています。全体会はYoutubeによる配信も行います。

全体会の前後に別日程で4つの講座、分科会を開きます。

2月8日(土)10:00~12:00 東京労働会館 3階研修室で、第1分科会「だれもが住み続けられるまちづくり」を行います。地域の取り組みを持ち寄って交流します。この分科会は、Web配信も行う予定です。

2月20日(木)13:30~16:30 豊島区東部区民事務所で、第1学習講座「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を行います。生活保護について田川英信さん(東京都生活と健康を守る会理事)年金について木田保男さん(全日本年金者組合書記長)が講演を行います。

3月4日(火)13:00~15:00 東京都生協連会館で、第2学習講座「ジェンダー・人権の視点から考える防災」を行います。浅野幸子さん(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)が講演を行います。

3月6日(木)14:00~16:00 豊島区東部区民事務所(予定)で、第3学習講座「マイナンバー保険証問題の本質と運動の課題」を行います。寺尾正之さん(日本医療総合研究所研究・研修委員)が講演を行います。

全体会参加費は1000円(チケットで全体会と講座または分科会委1か所に参加できる)、現在チケットの普及が始まっています。参加要請のオルグに取り組み、宣伝が広がるにつれて、問い合わせが増え始めています。自分の介護についての要求を語り、自分は家の中も伝い歩きで参加できないが「おひとりさまの老後がアブナイ」と思っているのがうれしいと立川に住む97歳の女性からの電もありました。



